



調布市立多摩川小学校 学校だより 2月号

令和5年2月1日

調布市立多摩川小学校 校長 上杉 潤

TEL. 042-481-7648

FAX. 042-499-4183

<https://www.chofu-schools.jp/tamagawa-sho/>



多摩川

新生多摩川小学校

～今までの良さと、新しい活動の融合を目指して～

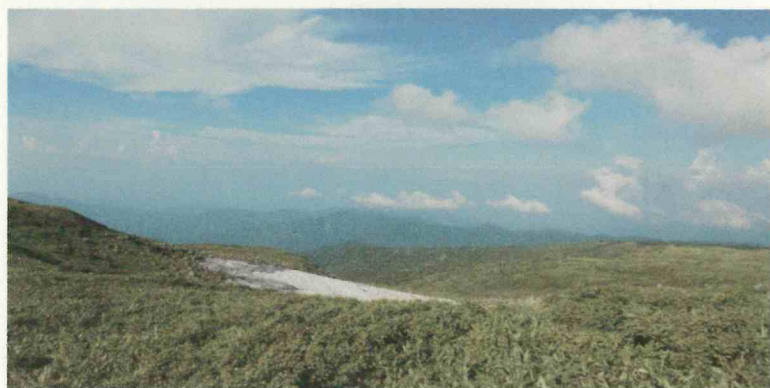
副校長 平山 浩美

私は近年、様々な土地をめぐり、そこで暮らす人々と話し、地場の食べ物をいただき、歴史に触れる時間づくりを試みています。都内でも立ち寄ったことのない街を散策するたび、たくさんの発見があります。『見て・聴いて・感じる』ことの大切さを感じます。

そんなある日、山形県出羽三山を訪ねた時のことです。出羽三山は、月山・羽黒山・湯殿山の総称で古くから修験道場として全国に知られています。最初の日、月山に登りました。出羽三山の主峰月山は、標高 1,984m 高山植物の宝庫とも知られています。八合目の御田ヶ原（弥陀ヶ原）は、泥炭層の湿原で花々が咲き誇り、山頂にかけて国の天然記念物に指定されています。初めは平らな木道を歩いているのですが、登り始めると岩と石に覆われた登山道が永遠と続き、すれ違う下山途中の人々に、「頂上まであと、どのくらいですか？」と尋ねると、すれ違う人すれ違う人、「あと、2時間くらいかな…。」と、一向に時間が縮まらず？驚きの連続でした。それだけ登山する人皆、この岩山の道のりの険しさを感じていたのでしょう。やっと八合目の御田ヶ原にたどりついた時、目の前に広がる絶景に目を奪われました。いよいよ、山頂へ。たどり着いた安堵とともに、山頂までの険しい道のり、そして、そこから見える山々と空を眺め、心の底から自然に対する畏敬の念を抱きました。

教育現場では、GIGA スクール構想により、モバイル端末が児童一人一人に配布され、児童も教員も身近なものとなり、教育活動の幅も広がってきています。この三年間状況に応じて、対応し続けてきた新型コロナウイルス感染症対策も With コロナへと移行しながら、制限が緩和されてきています。そこで、今、教育活動内容を考える時となっています。かつての行事・授業内容をそのまま踏襲するのではなく、GIGA スクール構想で得たものを継続し、また、『見て・聴いて・感じる』ことで得られるかけがえのない体験をどう取り入れていくのか。カリキュラムを考え、内容を精査し、新生多摩川小学校へ向けて、そこから巣立っていく児童一人一人が、持続可能な社会を創り出す担い手となるような教育活動へと…。まずは新年度へ向けて、教職員一同検討しているところです。

これからも児童の健康と安全を第一に考え、教職員一丸となって取り組んでいきます。今後ともご家庭のご協力のほどをよろしくお願いいたします。



2月の生活目標

「あいさつや言葉遣いを考えて生活しよう」

同じ内容を伝える場合でも、言葉遣いで伝わり方が変わります。大切なことは相手の立場を考えながら気持ちを聞き合うことです。自分の思い込みのまま一方的に思いを伝えてしまうと、思わぬトラブルにつながる可能性があります。

「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」「すてきだね」など、相手に関心をもちプラスの言葉を増やすことで、よりよい人間関係を築くことができます。

SNSを通したコミュニケーションも同じです。直接相手と話すことができないため、誤解が生じてしまうことがあります。大切なことは直接伝えることや相手の状況を尊重することなど、保護者の方の経験を生かしながら、親子で話をしてみてください。

【生活指導部 松下 優子】

相談室だより

店頭には様々な豆と一緒に鬼のお面が並び季節になりました。鬼といえば児童文学の『泣いた赤鬼』がよく知られています。人間と仲良くしたい赤鬼のために、友人の青鬼が悪者になることをかって出て、人間に悪さをする。赤鬼が正義のヒーローになり青鬼をやっつけ、赤鬼は人間と仲良くできるようになる。しかし、青鬼は自分では赤鬼の立場が悪くなるという理由で手紙を置いて去ってしまう。赤鬼はその手紙を読んで泣く…というお話です。このお話は、読み手の年齢、立場等により、様々な問いかけをしてくれる点が魅力といえそうです。自分が赤鬼だったら？青鬼だったら？友情や集団と個の関係、差別等、そのようなことを考える機会として道徳や国語の教科書にも使われています。

今年度も残り2か月となりました。そろそろ、お子さんを取り巻くことの振り返りと気持ちの確認などをお勧めします。そんな時に、『泣いた赤鬼』のお話をお子さんにしてあげたり、感想を話し合ったりしてみたいかがでしょうか。

【市SC米本】

2月の行事予定

◎はスクールカウンセラー
来校日です。

1	水	クラブ活動（3年見学）	◎
2	木	東京染小紋体験（4年）	
3	金	安全指導 書初め展終	
4	土		
5	日		
6	月		◎
7	火		
8	水	【B時程】委員会活動	◎
9	木		
10	金		
11	土	建国記念の日	
12	日		
13	月	校庭・体育館授業公開週間始	◎
14	火	都展（～19日午前まで）	
15	水		◎
16	木	ブラインドサッカー体験（5年）	
17	金	校庭・体育館授業公開週間終	
18	土		
19	日		
20	月	体育館体育用具片付け（5年）	◎
21	火	新1年保護者説明会 （1年生4時間）	
22	水	クラブ活動（最終）	◎
23	木	天皇誕生日	
24	金	中学校体験（6年） プラネタリウム体験（4年）	
25	土		
26	日		
27	月		◎
28	火		

※避難訓練は、予告なしで行います。

クラブ活動 紹介

イラストを描くのが大好きなメンバーばかりです。みんなで話し合い、「カレンダー作り」や「下敷き作り」等に取り組みました。6年生が中心となってグループをまとめ、和気あいあいと楽しく描いています。それぞれが得意なイラストを描き、個性豊かな作品に仕上がりました。

マンガ・イラストクラブ

みんなで楽しみ、ゲームを通して仲を深めることをめあてに、活動計画を立て、将棋やオセロなどの各種ゲームを楽しんできました。

6年生がリーダーシップをとり、コミュニケーションを図りながら、いろいろなゲームにチャレンジしています。

室内ゲームクラブ

自分が作りたい物に挑戦し、同じ物を作る人たちとグループを作って楽しく活動しています。ミシンを使ったり、手縫いで模様を付けたりと、集中して工夫いっぱい作品を作っています。オリジナルの作品が早く仕上がるよう、頑張っています！

手芸クラブ

校庭でスポーツを楽しむクラブです。鬼ごっこやサッカーなど外でできる遊びを6年生を中心に考え、みんなが楽しめるルールを話し合いながら進めています。また、チーム決めも工夫しながら、有意義な異学年交流の機会にしています。

校庭スポーツクラブ

5、6年生が中心になって、みんなで好きな曲、演奏したい曲を出し合って、話し合い、曲を決めます。これまでに「ドライフラワー」を練習して、とても上手に演奏できました。3学期は「ミックスナッツ」を練習予定です。好きな楽器で、仲良く合奏を楽しんでいます。

音楽クラブ

卓球クラブはみんなで楽しむことをモットーに活動しています。クラブ員31名4～6年生が協力して準備したり、教え合ったりして、高め合っています。みんなで楽しみながら練習し、回数を重ねるごとに上達している様子が分かります。

卓球クラブ

タブレット端末を使ってプログラミングをして、ゲームやアニメーションを作る活動などを行っています。自分が作りたいものを計画し、イメージしたものを表現できるように試行錯誤して作ります。楽しみながら、意欲的に取り組んでいます。

パソコンクラブ

6年生がリーダーシップを発揮して、自主的に活動しています。いろいろなお話の登場人物たちが繰り広げるオリジナルの台本に、工夫を加えて演じています。動画での発表で、みんなを楽しませようと頑張っています。

演劇クラブ

工作造形クラブでは、作りたいものを自分たちで決めて、学年が混ざった班を構成して、教え合ったり話し合ったりしながら製作を楽しんでいます。今年度はホバークラブト、樹脂粘土の和菓子、まが玉を作っています。

工作・造形クラブ

科学クラブでは、みんなの意見を取り入れて活動計画を立て、6年生が中心となって活動しています。キャンドル作り、空気砲、スライム作り、割れにくシャボン玉など、おもしろい性質や現象を利用した実験を理科室で行っています。

科学クラブ

ボッチャはパラリンピック種目であり、東京2020パラリンピック個人戦では日本人選手が金メダルに輝きました。大会の動画などを見ながら学んだり、自分たちでルールを工夫したりしながら楽しんで活動しています。

ボッチャクラブ

自分たちで活動内容を話し合い、ドッジボール、バスケットボール、バドミントンなどを行っています。みんなが楽しめるように、6年生が中心となってチーム編成やルールなどを考え、引っ張っています。仲良く協力して活動しています。

体育館スポーツクラブ

3年生の様子

タイムスリップ 昔のくらし

3年生の3学期の社会科では「調布市のうつりかわり」の学習を進めています。総合的な学習の時間や国語の学習とも関連させながら学習を進めていきます。

「調布市のうつりかわり」では、調布市の様子がどのように変化してきたのかを学習しています。10年ごとの航空写真を比較し、自分たちがよく知っている場所が変化する様子に興味津々でした。「新校舎がないよね」、「恐竜公園がない」など多くの発見をし、建物や道路の様子の変化、交通の発達を実感していました。

市全体の移り変わりと合わせて、総合的な学習の時間では人々の暮らしの変化について、それぞれのテーマを選んで調べ学習に取り組みます。1月25日に郷土博物館学芸員による出前授業、1月27日に郷土博物館を見学をしました。出前授業や博物館見学、祖父母や父母へのインタビューをふまえて、人々の暮らしの変化に気づき、興味をもって学習を広げられるようにしていきたいと思います。

好奇心旺盛な3年生は、2学期の警察署見学、農家見学、理科の実験など、身近に感じられることや体験できることについて、特に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいました。感染症予防対策を講じながら、子どもたちの興味や関心が活きる学習を進めていきたいと思います。これからも、生き生きと学ぶ姿が見られることを楽しみにしています。

【3年担任 前中 絃子】

たまっ子ひろば

本校では、異学年とのかかわりを通して相手を思いやる気持ちや、協力する大切さを育むことを目的に「たまっ子ひろば」という異学年交流に取り組んでいます。1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がそれぞれ兄弟学年となり、年間を通して交流を行っています。

3学期は、兄弟学年で大縄に取り組みました。上級生は優しく声をかけながら、ゆっくり縄を回したり、縄を飛ぶタイミングを教えてあげたりしていました。また下級生は、応援に応えようと何度も挑戦しながら取り組みました。

異学年交流は、下級生にとっては、上級生の行動力や思いやり、頼もしさに触れる機会となります。また、上級生にとっては、下級生と触れ合うことで、純粋な気持ちを感じたり、頼りにされたりすることで自尊感情、自己有用感を高めたりすることができるよい機会になります。誰かにしてもらっただけではなく、してあげる喜びもきっと感じてくれることと思います。



このような交流活動の中で、下級生が上級生に憧れをもち、自分たちで意欲的に企画・運営しながら、よりよいつながりが「たまっ子」たちの間で続いていくことを目指しています。

【特別活動部 大根田 憲汰】